

株式会社岩月機械製作所

顧客ニーズに即した「着せ替え型」食品用遠心脱水機

板金加工の内製化を実現

食品用遠心脱水機の製造・

販売を事業のメインとする岩月機械製作所。コンビニヤスパーで販売されているカット野菜を洗浄後、水切りする装置の先駆的な存在だ。

2014年6月に発売した

最新のKM-SW型は食材の水切りに加え、その前処理の殺菌、冷却も

含めた3工程

を一体ででき

る（実用新案

取得済み）。食

材を入れる容

器も用途に応

じてポリざる

やステンレス

ざる、布袋や

絞り袋などで

入れ替え可能

な「着せ替え

型」となって

いる。

同社は2016年12月、も

のづくり補助金を活用し、ス

テンレスを切断するシャーリ

ングマシン（せん断機）と折

り曲げ加工するプレスブレー

キを導入した。というのも、

脱水機の制御盤やモーターカ

バーといった部分の板金加工

を外注していた川口市内の業

者が相次いで廃業。「このまま

では外注先がなくなる」と危

機感を強めた結果、板金機械

をそろえ、自前で加工できる

ようにしようと決断した。

板金機械を入れたことで、

今までは外注先で加工ができ

るまで待っていた時間のロス

がなくなり、納期を1週間く

10日間短縮することが可能に

なった。岩月宣男会長は「社

内でやると人件費もかかるし

（外注するよりも）かえって高

くつくかもしれない。だが短

納期になれば、それだけ生産

性も向上する」と話す。

ものづくりのまち川口に

あって、近年の機械加工業の

衰退は目を覆うばかりという

「ものを売ることより加工業

者を探す方に頭を使わなけれ

ばならない。これから我々、中

小企業が難しくなるのはそこです」と岩月氏。

ほとんど職人が手作業して

いる製造工程のロボット化も

進めたい考え。多品種小ロッ

トのものづくりの中でもなる

べく部品の共通化を進め、ま

ずは比重の大きい溶接から導

入できればと夢を描く。

■ 株式会社岩月機械製作所

実施場所：川口市朝日4-11-4

本社：東京都台東区松が谷3-19-2

代表者：代表取締役社長 岩月光弘

設立：1966年12月 資本金：1000万円 従業員数：12人

電話：03 (3897) 8021 [営業所・足立工場]

モ▶最初はクリーニング機械の製造販売から出発。その経験を生かし1994年に食品加工業に転身。今では食品用脱水機の専門メーカーとしての地位を確立した。